

Pumps!

FUJIMARU

濁水処理設備

FMJ2-10D

処理能力: 10m³/Hr

富士丸産業株式会社

●標準処理能力は毎時10m³で連続運転処理が可能

●設置が簡易な省スペース型の凝集沈殿設備

●メンテナンス性を考慮した構造。維持管理も容易



一般工事現場での
濁水処理設備として

土壌汚染対策工事
での仮設排水処理
(重金属類)として

工場排水処理設備
の一時的な仮設の
排水処理として

様々な場面で活躍するポータブル型濁水処理設備

あんしん機能

○処理水PH値が設定値範囲外となった場合には、流入側の原水ポンプを自動停止させ運転を止めることができます。

(但し、事前の条件設定が必要となります)

○異常時の回転灯接点、無電圧接点の出力用端子台も付属。

FMJ2-10D



現場設置例



プラント本体



凝集剤添加ポンプ[°]
(PACおよび高分子凝集剤)



反応槽(凝集剤添加部)



スラリー引抜ポンプ(排泥ポンプ)



処理装置制御盤



凝集剤槽(PAC・高分子凝集剤)

機器名称	濁水処理設備 FMJ2-10D
処理量	10 m3/毎時
処理方式	PAC+高分子凝集剤による凝集沈殿処理（及びアルカリ中和処理）
運転方式	連続運転型
	反応槽にてPACを添加し攪拌、次に高分子凝集剤を添加攪拌しシックナーにて凝集沈殿処理。放流槽（PH管理槽）にて中和処理を行い放流。
対象濁水	主として一般工事現場発生汚濁水
	流入濁度：200～3500mg/L程度
	流入PH：11以下（炭酸ガスでの中和処理時）
中和方式	炭酸ガスによるアルカリ中和（炭酸ガス方式）
本体寸法	L3400×W2155×H2265 mm
機器重量	3000kg（本体重量） ※約8.5 t（運転重量）
電気容量	三相200V 8KW（プラント本体）
その他	PH記録計は標準搭載（濁度記録計はオプション）

本体寸法

※プラント本体のほか、原水槽、スラリー槽、放流水槽などが別途必要となります。

